



# 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニッセンホールディングス  
コード番号 8248 URL <http://www.nissen.info/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐村 信哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員CFO兼グループ財務本部長 (氏名) 筑紫 敏矢

TEL 075-682-2041

四半期報告書提出予定日 平成26年10月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成25年12月21日～平成26年9月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	135,777	△6.4	△4,742	—	△4,724	—	△5,161	—
25年12月期第3四半期	145,097	22.8	△3,410	—	△2,856	—	△2,816	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △4,955百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 △2,301百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△81.38	—
25年12月期第3四半期	△46.41	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	100,746	22,771	22.6
25年12月期	95,403	26,451	27.7

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 22,771百万円 25年12月期 26,435百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年12月期	—	5.00	—	0.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年12月期の期末配当予想額については未定であります。

## 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成25年12月21日～平成26年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,800	0.2	△4,650	—	△4,650	—	△5,000	—	△78.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	66,669,432 株	25年12月期	63,473,832 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	2,798,314 株	25年12月期	2,797,815 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	63,416,544 株	25年12月期3Q	60,676,210 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(その他の注記事項)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当第3四半期連結累計期間（平成25年12月21日～平成26年9月20日）の業績概況

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、政府の景気対策等により景気は緩やかな回復基調となりましたが、個人消費におきましては消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順等により一部で弱さが残りました。

このような環境の中、当社グループは、中期経営計画「Nissen Vision 50」に掲げた目標の達成と早期の業績回復に向けた取り組みを推進いたしました。

当社は平成25年12月2日付にて株式会社セブン&アイ・ネットメディアと資本業務提携契約を締結し、平成26年1月29日付にて、同社の子会社並びに株式会社セブン&アイ・ホールディングスの連結子会社となりました。当社グループは、セブン&アイグループとの協業により、新たな企業価値を創造し、また、セブン&アイグループ全体としてのオムニチャネル戦略を推進することにより、競合他社と差別化された商品・サービスの提供を実現し、事業の成長と強化を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間における当社の連結業績は、コマース事業の株式会社ニッセンにおける減収減益の影響が大きく、売上高135,777百万円（前年同期比6.4%減）、営業損失4,742百万円（前年同期営業損失3,410百万円）、経常損失4,724百万円（前年同期経常損失2,856百万円）、四半期純損失5,161百万円（前年同期四半期純損失2,816百万円）となりました。

(単位：百万円)

	平成25年12月期第3四半期		平成26年12月期第3四半期	
		前年同期比		前年同期比
売上高	145,097	22.8%増	135,777	6.4%減
営業利益	△3,410	—	△4,742	—
経常利益	△2,856	—	△4,724	—
四半期純利益	△2,816	—	△5,161	—

## ②セグメント別の業績概況

## コマース事業

コマース事業における売上高は131,487百万円（前年同期比6.8%減）、セグメント損失は4,454百万円（前年同期セグメント損失2,989百万円）となりました。

株式会社ニッセンにおきましては、ネットを主体としたビジネスモデルへの構造転換を進めていく中で、品揃えの強化や価値ある商品の開発、カタログのあり方の見直し等により売上回復を図っておりますが、これまでの稼働客数減少の影響が大きく、売上高は前年同期の実績を下回りました。営業利益につきましては、在庫処分の売上が減少したこと等により原価率の改善はあったものの、減収による利益の減少やカタログ費等のプロモーション費用を積極的に投下したことにより、前年同期の実績を下回りました。

シャディ関連連結3社（シャディ株式会社及び同社の完全子会社である株式会社エニシル、スリーハート・コーポレーション株式会社を「シャディ関連連結3社」といいます）におきましては、有店舗事業の売上減少傾向が続き、売上高は前年同期の実績を下回りましたが、営業利益につきましては、粗利改善効果や販売管理費の削減等により、当第3四半期連結累計期間においても黒字を維持し、前年同期の実績を上回りました。

### ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は982百万円（前年同期比20.8%減）、セグメント利益は168百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

保険事業におきましては、株式会社ニッセンライフの売上高につきまして、対面販売やウェブサイトを活用した販売を強化する一方で、不採算チャネルであるテレマーケティング事業を縮小したことにより前年同期の実績を下回りました。経常利益につきましては、販売効率は引き続き改善傾向にあります。前年は支払備金の取崩等が計上されていることにより前年同期の実績を下回りました。

クレジット事業におきましては、持分法適用関連会社のニッセン・ジー・イー・クレジット株式会社のクレジット取扱高はほぼ前年並みで推移し、改正貸金業法施行以降下げ止まりつつありますが、貸倒関連費用が前年よりも増加したこと等により、持分法による投資利益が前年同期の実績を下回りました。

### その他事業

その他事業の売上高は3,377百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益は61百万円（前年同期比144.1%増）となりました。

宝飾事業におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要やその反動がありましたが、反動による影響は想定内に留まり、業績は順調に推移しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比5,343百万円増加し、100,746百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少に対し、たな卸資産、前払費用の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比9,023百万円増加し、77,975百万円となりました。これは主に長期借入金金の減少に対し、短期借入金、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比3,679百万円減少し、22,771百万円となりました。これは主に第三者割当増資による資本金、資本剰余金の増加に対し、利益剰余金の減少によるものです。

(単位：百万円)

	平成25年12月期末	平成26年12月期 第3四半期末	増減
総資産	95,403	100,746	5,343
負債	68,951	77,975	9,023
純資産	26,451	22,771	△3,679

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年2月3日に公表した見通しから変更しておりません。業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上、利益共、前年同期の実績を大きく下回り、厳しい状況でした。第4四半期につきましても、当社グループの主力事業会社である、株式会社ニッセンの売上は当初見込みを下回って推移しており、厳しい状況が続いております。

通期業績予想に関しましては、天候等に左右される消費者の需要動向や、株式会社ニッセンのカタログ施策見直しに伴い変動する顧客の稼働状況等の不透明な影響について十分に精査を行い、その修正が見込まれ次第、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,416	2,110
受取手形及び売掛金	15,111	15,940
たな卸資産	16,903	23,645
前払費用	6,278	8,625
未収入金	8,933	8,317
その他	2,358	2,041
貸倒引当金	△477	△517
流動資産合計	54,524	60,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,524	12,941
その他(純額)	10,751	11,084
有形固定資産合計	24,276	24,025
無形固定資産		
のれん	707	634
その他	7,509	7,173
無形固定資産合計	8,217	7,808
投資その他の資産		
投資有価証券	6,499	6,381
その他	2,632	3,136
貸倒引当金	△744	△767
投資その他の資産合計	8,386	8,749
固定資産合計	40,879	40,583
資産合計	95,403	100,746
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,610	31,556
短期借入金	5,189	11,675
未払金	7,463	8,580
未払法人税等	348	91
返品調整引当金	196	164
返品破損引当金	23	21
販売促進引当金	287	163
事業整理損失引当金	69	69
その他	6,893	7,312
流動負債合計	48,082	59,634
固定負債		
長期借入金	11,858	9,695
リース債務	5,905	5,494
退職給付引当金	1,620	1,694
その他の引当金	43	74
資産除去債務	284	285
その他	1,156	1,096
固定負債合計	20,869	18,340
負債合計	68,951	77,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,218	11,873
資本剰余金	11,240	11,895
利益剰余金	4,069	△1,109
自己株式	△922	△923
株主資本合計	25,604	21,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	307	311
繰延ヘッジ損益	522	724
その他の包括利益累計額合計	830	1,035
新株予約権	16	—
純資産合計	26,451	22,771
負債純資産合計	95,403	100,746



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年9月20日)
売上高	145,097	135,777
売上原価	89,514	83,127
売上総利益	55,583	52,650
返品調整引当金繰入額	169	164
返品調整引当金戻入額	172	196
差引売上総利益	55,586	52,682
販売費及び一般管理費	※ 58,997	※ 57,424
営業損失(△)	△3,410	△4,742
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	107	13
受取手数料	50	48
持分法による投資利益	344	61
雑収入	373	187
営業外収益合計	881	315
営業外費用		
支払利息	243	197
雑損失	84	101
営業外費用合計	327	298
経常損失(△)	△2,856	△4,724
特別利益		
固定資産売却益	4	9
投資有価証券売却益	886	126
新株予約権戻入益	34	22
資産除去債務戻入益	7	—
特別利益合計	932	159
特別損失		
固定資産除売却損	134	33
減損損失	1	—
投資有価証券評価損	36	80
リース解約損	1	—
補償損失	—	31
貸倒引当金繰入額	—	95
その他	—	0
特別損失合計	173	240
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,098	△4,805
法人税、住民税及び事業税	413	520
法人税等調整額	304	△165
法人税等合計	717	355
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,816	△5,161
四半期純損失(△)	△2,816	△5,161

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,816	△5,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	3
繰延ヘッジ損益	92	201
その他の包括利益合計	514	205
四半期包括利益	△2,301	△4,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,301	△4,955
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年1月29日付で、株式会社セブン&アイ・ネットメディアから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が655百万円、資本準備金が655百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が11,873百万円、資本剰余金が11,895百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年12月21日 至 平成25年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	140,959	1,240	2,897	145,097	—	145,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97	—	13	110	△110	—
計	141,057	1,240	2,910	145,208	△110	145,097
セグメント利益又は損失(△)	△2,989	503	25	△2,461	△395	△2,856

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△395百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△395百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月21日 至 平成26年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	131,423	982	3,371	135,777	—	135,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	64	—	6	70	△70	—
計	131,487	982	3,377	135,847	△70	135,777
セグメント利益又は損失(△)	△4,454	168	61	△4,224	△499	△4,724

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△499百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△499百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(その他の注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月21日 至 平成25年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月21日 至 平成26年9月20日)
広告宣伝費	14,363百万円	14,071百万円
運賃及び荷造費	11,117百万円	10,476百万円
給料	9,912百万円	9,416百万円
販売促進費	5,889百万円	5,715百万円
支払手数料	4,553百万円	5,043百万円
退職給付費用	217百万円	229百万円
貸倒引当金繰入額	249百万円	198百万円
販売促進引当金繰入額	—百万円	121百万円